



キャンパス・コンソーシアム函館

合同公開講座

函館学 2017

第4回講義

講義資料

プロジェクションマッピングで蘇る歴史空間

迎山 和司

公立はこだて未来大学准教授

日時:平成29年9月30日(土)午後1:30~3:00

会場:公立はこだて未来大学

主催:キャンパス・コンソーシアム函館



キャンパス・コンソーシアム函館

○講師略歴

迎山 和司（むかいやま かずし）

公立ほこだて未来大学 准教授

京都市立芸術大学大学院美術研究科卒業後、同大に勤務。
カリフォルニア大学、倉敷芸術大学を経て、
2003年4月に本学講師に着任、2006年より現職。

プロジェクションマッピングで蘇る歴史空間

～講演内容～

プロジェクションマッピングとは、プロジェクタを用いて建物など立体物の形に沿って映像を投影して、錯覚効果で形を歪ませたり色を変えたりする表現手法です。この手法を利用すると、改変することのできない歴史文化財の当時の姿を再現することが出来ます。

この講義では

「旧函館区公会堂」

「旧函館博物館2号」

「箱館奉行所」

などの事例を紹介しながらこの価値と効果についてお話します。